

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

令和 7 年 2 月 吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 201 回）のご案内

軟弱地盤研究会
会長 日野剛徳

日 時：令和 7 年 2 月 28 日（金） 14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：改良土の品質検査におけるフェノールフタレイン法の当否に関する一考察
～ハンドヘルド蛍光 X 線分析装置の適用～

講演者：佐賀大学非常勤博士研究員 シンデテ マティロ・ジョゼ 氏

佐賀大学共同研究員（テクノクス九州） 碓井 博文 氏

※講演者の一人は外国人ですが、当日は全ての面で日本語を用います。

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

改良土における従来の品質検査はフェノールフタレイン法に基づくが、着色するも強さは現れないとの矛盾に陥ることが少なくない。講演者らの属する研究グループは、ハンドヘルド蛍光 X 線分析装置を品質検査の新技術に位置付け、改良土の強度発現特性を左右する水和物の組成としてのカルシウム（Ca）とケイ素（Si）の計測値に注目してきている。

本講演では、改良土の品質検査におけるフェノールフタレイン法の原理と適用の経緯について顧みるとともに、今後の改良土の品質検査におけるハンドヘルド蛍光 X 線分析の実装の可能性についてともに考える。

※参加希望の方は 2/21（金）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 （公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603